

第 1 章 秋田県のすがた

第 1 節 地勢・沿革

1 地 勢

本県は、首都東京のほぼ真北約450kmの日本海沿岸にあって面積11,637km²(全国第6位)、13市9町3村に区分されています。

県北には、鷹巣、大館、花輪の諸盆地、県南には横手盆地があり、また雄物川、米代川、子吉川などの河川に沿って肥沃な耕地が展開し、その下流には秋田、能代、本荘の各平野が開け多くの都市を發展させています。

2 沿 革

秋田の地名が歴史に現れたのは、斉明4年(西暦658年)、阿部比羅夫が蝦夷を支配下に置いたときと伝えられています。

関ヶ原合戦後の慶長7年(西暦1602年)佐竹義宣が常陸より国替を命ぜられ、秋田6郡20万石の領主となりました。その後、明治維新までの約260年間の間に、鉱山の開発や新田の開拓などの産業経済の礎を築いてきました。

明治4年の廃藩置県によって、秋田県が誕生して以来、多くの人々が郷土の発展に力を尽くし、今日の秋田が築かれてきました。



年 月 日	羽 後 国	陸 中 国	
明治元年	久保田領 山 河 仙 平 雄 田 本 辺 北 鹿 勝 郡 郡 郡 郡 郡 郡 久保田藩	亀 本 矢 仁 田 荘 島 賀 領 領 領 保 由 利 郡 亀 本 矢 酒 田 荘 島 田 藩 藩 藩 藩 (民政局)	南部領 鹿角郡 南部藩
明治3年2月24日	岩崎藩(雄勝郡東部)立藩		
明治4年1月13日	久保田藩を秋田藩と改称		
明治4年7月14日	秋田県	岩崎県 亀田県 本荘県 矢島県 酒田県 江刺県	
明治4年11月2日	秋田県	岩崎県、亀田県、本荘県、矢島県、酒田県の一部(旧仁賀保領)及び江刺県のうちいまの鹿角市、鹿角郡を編入した。	
平成18年3月27日	平成16年度～17年度 市町村合併 「9市50町10村」から「13市9町3村」となった(詳細はP5)。		

第2節 自然・気象

1 自然

本県は、全国で6番目という広い面積を持ち、春の新緑、夏の空と海の青さ、秋の紅葉、冬の雪景色といった色彩感あふれる四季の変化に富んだ自然を誇り、その息吹を身近に感じながら生活することができます。



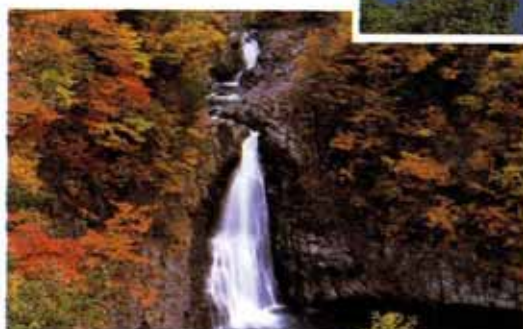
駒ヶ岳とチングルマ



入道崎



十和田湖



法体の滝



樹氷の八幡平

2 気候

当県の気候は、概ね出羽山地により海岸部と内陸部の2つに区分されます。海岸部は全般的に対馬海流の影響を受けてしのぎやすく、冬期間でも積雪は少なめです。

内陸部は夏には比較的高温となり、冬は寒さが厳しく積雪も多くなります。県の面積のほぼ半分が特別豪雪地帯となっております。

全般に長い冬と短い夏が特徴で、四季の変化がはっきりしています。

	秋田	札幌	仙台	東京
最低気温 ()	- 5.5	- 9.9	- 3.8	0.0
最高気温 ()	33.0	31.2	32.8	34.2
年平均気温 ()	12.0	9.4	12.9	16.7
年間日照時間 (h)	1,531.2	1,604.4	1,726.2	1,783.3
年降水量 (mm)	1,729.0	1,147.0	1,303.5	1,801.5
降水日数 (日)	172	149	97	105
雪日数 (日)	96	116	56	8

資料：「平成21年気象データ」(気象庁)

第3節 人口・産業構造

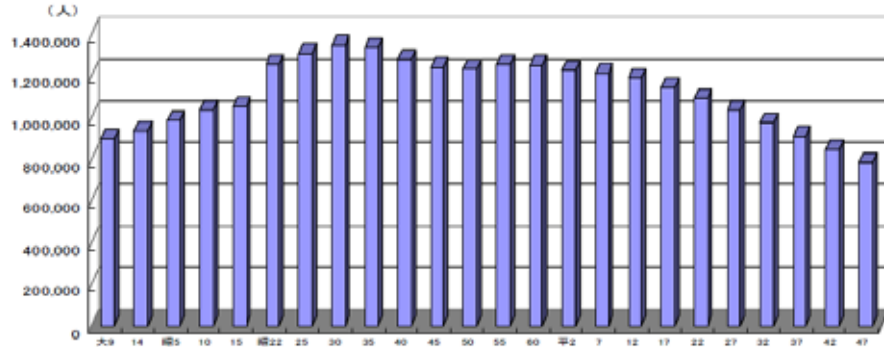
1 人口

本県の人口は、平成22年4月1日現在で1,089,715人です。

国勢調査による本県の人口を見ると、昭和30年の134万9千人をピークに減少を続け、平成17年には114万6千人となり、昭和30年に比べ20万3千人、15.1%の減となっています。

国立社会保障・人口問題研究所がまとめた「日本の都道府県別将来推計人口(平成19年5月推計)について」(以下「将来推計人口」)によれば、本県の将来推計人口は平成47年時点で78万3千人と平成17年に比べ36万3千人、31.7%の減(年率では1.1%の減)と、今後人口減少のスピードはますます増していくものと見込まれています。

秋田県の人口の推移



*H17年値まで実績値、H22年から推計値

出典)総務省「国勢調査」大正9年～平成17年

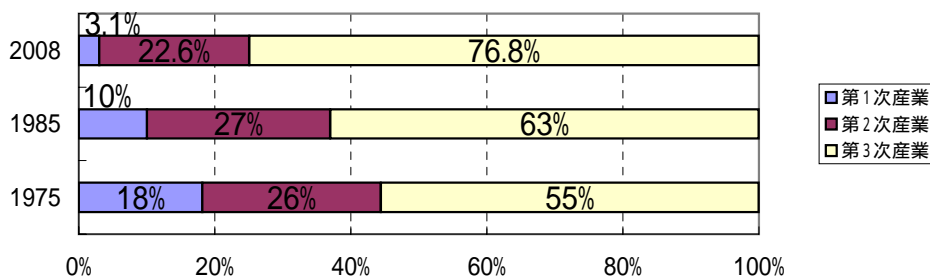
国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口(平成19年5月推計)について」平成22年以降

2 経済・産業構造

平成20年度の県内総生産は実質では3兆9,388億円で6年ぶりの減少、名目は3兆6,251億円で3年ぶりの減少となりました。また、一人当たり県民所得は、2,330千円となり、前年度に比べ15万3千円(6.2%)減少しました。

生産面においては、木材価格の低下や燃料価格高騰の影響による水産業の減少、製造業・公共工事の落ち込み、金融・保険業の減少などにより第1次・第2次・第3次産業のいずれも減少しました。

区分		19年度	20年度	対前年度増加	
				金額	率
秋田県	県内総生産(実質)	41,148 (億円)	39,388 (億円)	-1,760 (億円)	-4.3
	県内総生産(名目)	38,085 (億円)	36,251 (億円)	-1,834 (億円)	-4.8
	県民所得	27,822 (億円)	25,809 (億円)	-2,013 (億円)	-7.2
	1人当たり県民所得	2,483 (千円)	2,330 (千円)	-153 (千円)	-6.2
全国	国内総生産(実質)	5,624,346 (億円)	5,414,944 (億円)	-209,402 (億円)	-3.7
	国内総生産(名目)	5,156,510 (億円)	4,941,987 (億円)	-214,523 (億円)	-4.2
	国民所得	3,784,636 (億円)	3,515,221 (億円)	-269,415 (億円)	-7.1
	1人当たり国民所得	2,963 (千円)	2,754 (千円)	-209 (千円)	-7.1



資料：「秋田県県民経済計算平成20年度速報」(秋田県)

3 面積

本県の総面積は約11,637km²、全国第6位で、東京都、埼玉県、千葉県の合計を上回ります。また、比較的大きな各市町村の面積規模が、市町村合併によりさらに大きくなり、由利本荘市と北秋田市の合計だけで東京都や沖縄県を上回り、神奈川県にほぼ等しい面積になります。

秋田県市町村区域図

